

ヤクシカの生息状況について

環境省九州地方環境事務所

1. 調査の概要

- (1) 調査時期 平成 29 年 10 月 1 日～10 月 30 日
- (2) 調査地点 糞塊法：島内 105 地点
- (3) 調査方法 過年度に行った踏査ルートと可能な限り同一ルートを踏査して左右 1 m の範囲内の糞塊数を記録した。ただし、調査地点を変更した箇所については、新たに調査ラインを設定し踏査を行った。

2. 調査結果

調査地点の糞塊密度平均は 10.6 塊/km で、栗生から西部地域を経て永田までの間において平均より高い密度であり、西部林道沿いで最も高い密度を示した。温度補正を行ったうえ、全域の糞塊密度分布の推定を行った結果も、西部地域で高い傾向を示した。

また、糞粒法調査結果との相関も認められた ($y=0.1955x+5.8375$ 、決定数 $R^2=0.3232$)。

